

救 急 部

A 欧 文

A-a

1. Yohei Tateishi, Yasuyuki Iguchi, Kazumi Kimura, Kazuto Kobayashi, Kensaku Shibasaki, Katsumi Eguchi : Right-to-left shunts may be not uncommon cause of TIA in Japan, Journal of the Neurological Science

B 邦 文

B-c

1. 長谷敦子：動脈血ガス分析. 特集・呼吸器救急, 救急医学32 へるす出版, 東京, pp. 322-323, 2008
2. 長谷敦子：応急手当(first aid)の指針. 救急・集中治療ガイドラインー最新の診療指針ー2008〜' 09 pp4ー6 : 総合医学社, 東京, 2008
3. 長谷敦子：エビデンスに基づく実践麻酔科学 (訳) 8章気道の診察により、挿管困難を予想できるか? pp36ー49, 15章困難気道の病歴は、覚醒下の気道管理を必要とするか? pp95-100, 16章困難気道が予想される症例では、区域麻酔または全身麻酔のどちらを選択するべきか? pp101-106 監訳稲田英一：エルゼビア・ジャパン, 東京, 2008
4. 長谷敦子：TEXT 麻酔・蘇生学 (改訂3版) 第三部救急医療14 救急医療の概念と救急システムpp357-360, 16 救急診察法pp367-369, 19病態に応じた診断と治療pp388ー391, 393-405, 413-414
5. 長谷敦子：スポーツ現場における毒性生物の応急手当の方法. スポーツ現場での応急手当Q&A パート2 pp30ー33、スポーツ医・科学情報BOOK財団法人長崎県体育協会, 2008

B-d

1. 長谷敦子, 山下和範, 坂本哲也, 畑中哲生, 清水直樹, 丸川征四郎：学童・学生・一般成人を対象としたAED啓発アニメーションの作製と教育効果の検討 平成19年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究 (課題番号H-18ー心筋ー01) 分担研究成果報告, 2008
2. 清水直樹, Zeynalov BF, 帯包エリカ, 黒澤茶茶, 新田雅彦, 太田邦雄, 井上信明, 長谷敦子, 谷川功一, 長尾健, 坂本哲也, 丸川征四郎：小児心停止例へのAED普及にかかわる研究 平成19年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究 (課題番号H-18ー心筋ー01) 分担研究成果報告, 2008
3. 丸川征四郎, 坂本哲也, 長谷敦子, 吉永和正：医系大学生のAEDを含む救急蘇生教育のあり方と普及法についての研究平成19年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究 (課題番号H-18ー心筋ー01) 分担研究成果報告, 2008
4. 畑中哲生, 長瀬亜岐, 野口普子, 金子 洋, 清水直樹, 長谷敦子, 坂本哲也, 丸川征四郎：公共施設におけるAEDの効果的な設置・表示のあり方に関わる研究 平成18年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究 (課題番号H-18ー心筋ー01) 分担研究成果報告, 2007
5. 浅利 靖, 丸川征四郎, 小菅宇之, 畑中哲生, 坂本哲也, 長谷敦子, 奥水健治, 今明 秀, 清水直樹, 平出 敦：市民のAED使用事例に関わる情報の活用と事後検証のあり方に関する研究 平成19年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究 (課題番号H-18ー心筋ー01) 分担研究成果報告, 2008

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2008	1	0	0	0	1	0	0	0	5	5	10	11

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2008	0	1	0	1	2	4	8	14	15

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2008	0.091	0.333	0	0

Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2008	0	0	0